

高レベル放射性廃棄物等の 地層処分研究開発

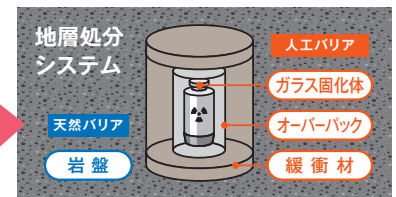
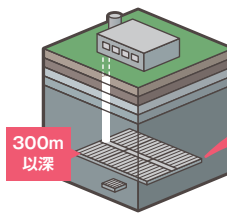
Sustainable

Ubiquitous

地層処分事業の実施主体（NUMO）や国に対して事業と規制を支える技術基盤を整備・提供し、原子力の持続的な利用に貢献します。

地層処分技術の信頼性向上に向けた取組

地層処分に必要な地質環境の調査・予測及び地層処分システムの設計・安全評価のための基盤的な研究開発に、最先端のデジタル技術を取り入れつつ取り組みます。



地層処分技術の研究開発

実際の地質環境条件下での研究開発



坑道へのセメント吹付け
遠隔施工試験（幌延）



深部地下での
地下水データ取得（幌延）

実際の地下の試験
データを解析

地層処分システムの 長期挙動の理解



加速器質量分析による地質試料
の年代測定技術開発（東濃）



地下を模擬した環境での放射性物
質移行データの取得（核サ研）

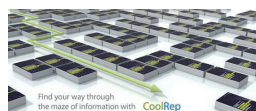
解析結果と
試験結果を比較

統合

CoolRep（クールレップ）

次世代科学レポートシステム

得られた研究成果を定期的に取りまとめ、ユーザーが必要な情報にアクセスしやすいように整理しています。

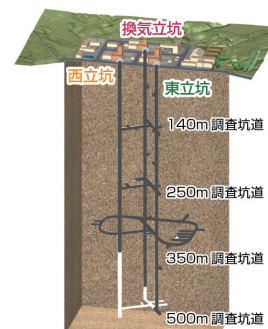


幌延国際共同プロジェクト



アジア地域の地層処分に関わる国際研究開発拠点として、**国内外の機関で協力しながら研究開発を推進**します。

幌延深地層研究計画 立坑掘削が深度500mに到達！



◀地下施設イメージ図
黒線：掘削済み範囲
白線：掘削工事における整備範囲
(令和6年10月31日時点)

人工バリアや処分孔の設計・施工技術などの地層処分技術
を大深度の化石海水が出現する
ような地質環境条件下で**体系的に実証**します。